

○ 本評価表は、 童発達支援センター又は児童発達支援事業所従事する従業者の方に、 事業所の自己評価していただくものです。

「はい」 又は「いいえ」 のどちらかに○を記入するとともに、 従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」 や「改善が必要だと思われる点」 などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ 広さは確保されている。 ・ 個別対応の際、しきりを設ける等環境作りをしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ 児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、パート職員を配置。職員の配置数は適切に配置されている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ 建物の構造上バリアフリーに出来ない為、ジョイントマットを敷き詰めたり、手すりの取り付け、見守り等で安全に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・ 日々の掃除・消毒を行い活動時には換気を心掛けています。 ・ 活動の部屋、静養室など活動に合わせた空間となっています。整理整頓を心掛け子ども達が落ち着いて過ごせる様心掛けています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ クールダウン等ができる部屋や場所を設けており、必要に応じて対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ 朝礼や夕礼以外に毎月全職員参加の定例会議を開催し、情報共有を図り、PDCAサイクルを心掛けている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 毎年自己評価アンケート調査を行い、結果を公表し、保護者からの意見を踏まえ改善するように務めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月全職員参加の定例会議を開催し、職員の意見を把握し業務改善に繋げている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・ 必要に応じ外部評価の実施を検討する。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員の経験年数や業務内容に応じ、適切な内容の研修を案内し、全員が研修を受けられるようにしている。 ・職員それぞれの専門性の研鑽を推奨している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		遊びを通した療育支援プログラムを作成し、ホームページで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・モニタリング会議や保護者との情報共有に参加し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・事業所内会議を開催し、支援に関わる職員全員が共通理解のもと、放課後等デイサービス計画を作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・朝礼で児童発達支援計画を読み合わせし、支援内容を共有し支援にあたっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ケア記録の振り返りやスキルリストを参照しアセスメントを行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・放課後等デイサービス計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を設定し、具体的な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは全職員で立案を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節に合わせた活動や行事に合わせたおやつ作り、長期休暇時は、平日に行けない場所への外出支援など飽きのこない活動内容を工夫している。 ・月刊誌、機関紙・本・インターネット等多角的に情報を収集し活動が固定化しないよう工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・一人ひとりの発達に応じ、集団適応やソーシャルスキルの視点を踏まえ、個別活動と集団活動の視点で個別支援計画を作成している。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼でその日の活動確認、夕礼でその日の活動の振り返りを行い、気になる点や対応方法の共通認識を持った方がよい事例等をあげ、情報の共有化を図りつつ、次回からの支援のステップアップに繋げる様にしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・夕礼を継続する。 ・個々の児童への支援の在り方、問題点の情報共有を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々、支援記録を記入し、支援の検証・改善に繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回または、必要時にはモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。
関係機	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や対象児童により詳しく適任者と思われる職員を選んで出席している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・担当者会議やモニタリング会議等で地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と情報共有し連携して支援している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行利用や移行に向けた支援を行っている。保育所等とは担当者会議やモニタリング会議等で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・小学校等とは担当者会議やモニタリング会議等で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			

関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターと連携し、助言や研修を受けた事がある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・交流のみを目的とした活動は行っていないが、外出時に二次的に交流が生まれる場面があった。今後は、保育所や、地域の他の子どもたちとの交流を深め、地域に根ざした活動を行っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日頃から連絡帳や送迎時にこどもの状況を伝えあい、こどもの発達状況や課題について共通理解を深めている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアトレの実施実績あり。また、保護者会にて研修等を設けたり、情報提供を行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等を丁寧に説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング会議や担当者会議等で確認したり、日々の情報共有にて意向を確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明を丁寧に行っている。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・家族からの相談に対応し、面談や必要な助言と支援を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会を定期的に開催し、きょうだい児も参加している。今後、お茶会等を開催し保護者同士が気軽に交流できるようにしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に苦情についての対応の体制をこどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している説明している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ホームページやブログ等で発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・職員採用時に誓約書を記入している。 個人情報に記載された書類は、鍵付きの書庫に保管している。 事業所のパソコンやスマホは、パスワードを設定している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードや書字等を用いて意思の疎通を図っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・ハロウィンパーティーやクリスマス会の際に、近所の住民を招待している。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・訓練を行ったりマニュアルの策定はしてあるが、職員や家族への周知が不足している。今後は家族や職員への周知も積極的に行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、年に2回以上の避難訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に保護者に確認をし、アセスメントに記載している。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・保護者からの情報で対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、安全管理を十分行われた中で支援している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・安全計画は作成しているが、家族への周知が不足している。今後は家族への周知を図っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎月全職員参加の定例会議を開催し、ヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会にて、外部や法人内研修を実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・契約時にどのような場合に身体拘束を行うか説明はしているが、該当児童がいない為個別支援計画に記載はしていない。